

## 堀田 善衛 (ほった よしえ)

作家、文芸評論家。大正7年(1918)7月17日生、平成10年9月5日没。

富山県射水郡伏木町(現在の高岡市伏木)に廻船問屋の三男として生まれる。伏木尋常小学校、石川県立第二中学校、慶応大学文学部仏文学科卒。

昭和26年刊行の『広場の孤独』『漢奸』など一連の著作により芥川賞受賞。富山県出身者としては初の芥川賞受賞者となる。昭和50年代には『ゴヤ』の執筆を機にスペインに長年滞在するなど、その国際的視野をもとに多くの小説・評論を生み出す。また日本アジア・アフリカ作家会議の事務局長を務めるなど、日本文学の国際的な地位の向上にも大いに貢献した。

### 年譜

西暦(元号)	事績	年齢
1918 大7	7月17日、伏木の廻船問屋堀田家の三男として生まれる。父は富山県会議長堀田勝文、母はのちに富山県に初めて保育所を整備した堀田くに。	0
1936 昭11	旧制金沢第二中学から慶應義塾大学政治科予科に進学。	18
1940 昭15	政治科から文学部仏文科に転部。	22
1942 昭17	慶応大学を卒業し、国際文化振興会に就職。『批評』同人参加。	24
1945 昭20	国際文化振興会職員として中国に渡る。終戦を上海で迎える。	27
1947 昭22	日本に帰国、世界日報社に就職。詩誌『歷程』同人となる。	29
1951 昭26	「漢奸」『文学界』に掲載。「広場の孤独」『文芸春秋』に掲載。翌年、これら一連の作品により第26回芥川賞を受賞。	33
1956 昭31	アジア作家会議出席のためインド訪問。この後もアジア・アフリカ作家会議の開催に向け、たびたび外国を訪問する。	38
1960 昭35	ラジオドラマ『渦潮』で芸術祭奨励賞を受賞。	42
1961 昭36	第1回アジア・アフリカ作家会議(東京開催)に参加。1984年に日本委員会議長を辞するまで、長らく同会議の運営に携わる。	43
1971 昭46	『方丈記私記』刊行。同作にて毎日出版文化賞を受賞。	53
1977 昭52	『ゴヤ』全4部作完結。同作にて大仏次郎賞受賞。	59
1980 昭55	バルセロナに移住。スペインと日本を往復しながら、『情熱の行方』(82)、『路上の人』(85)など多くの作品を発表。	62
1987 昭62	スペインより帰国。	69
1998 平10	脳梗塞のため、横浜市内の病院にて逝去。	80

参考資料：「堀田善衛 その文学と思想」(同時代社 2001)